

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0274

(注)本稿は2013年8月5日から14日まで6回にわたり「アラビア半島定点観測」に連載したレポートをまとめたものです。

2013.8.15
前田 高行

中東・北アフリカ(MENA)諸国の国防支出と兵力ランキング2013年版

(MENA なんでもランキング・シリーズ その18)

目次	頁
1. 国防費総額	2
2. 国民一人当たりの国防費	2
3. 国防費の対 GDP 比率	3
4. 兵力(正規兵及び予備役)	4
5. 日本、米国、中国、ロシアとの比較	5
6. 国防費の推移(2006年～2012年)	5

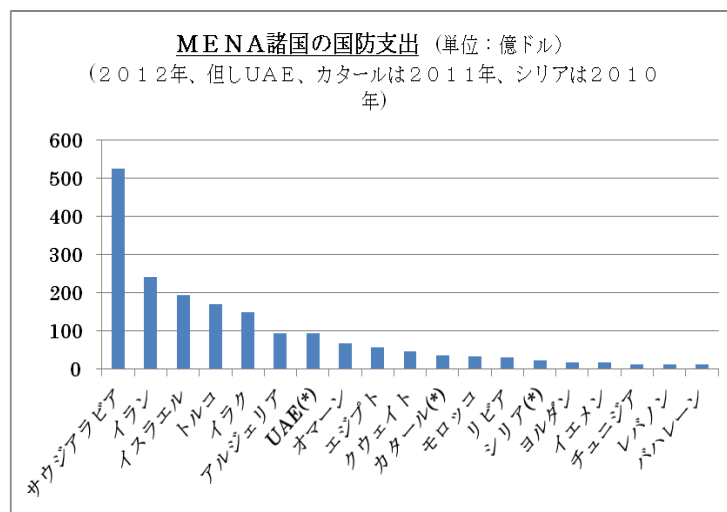
中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の19の国と1機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら19カ国・1機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第18回の MENA ランキングは、世界の軍事分析で有名な英国のシンクタンク「国際戦略研究所 (International Institute for Strategic Studies、略称 IISS)」が発表した「The Military Balance 2013」に基づいて2012年の国防費、GDPに占める比率及び一人当たり国防費並びに2013年の兵力についてMENA19カ国(データが示されていないパレスチナ自治政府を除く)をとりあげて比較しました。なお国防費、同GDP比率、一人当たり国防費のうちUAE及びカタールの数値は2011年、またシリアの数値は2010年のものであり、兵力についてはリビアのデータは示されていないため18カ国の比較です。また理解を促すため MENA 以外の日本、米国、ロシア、中国及び全世界のデータについても随時比較することとします。

1. 国防費総額の比較: 圧倒的なサウジアラビア、一国でMENA全体の3割強



MENA16カ国の国防費の総額は1,820億ドルである。最も多いのはサウジアラビアの525億ドルでサウジアラビア1国で全体の3割強を占めている。同国に次いで国防費が多いのはイランの239億ドルであるが、トップのサウジアラビアの2分の1以下である。3位から5位はイスラエル(194億ドル)、トルコ(170億ドル)、イラク(147億ドル)で以上の5カ国が国防費100億ドル以上の国である。上位5カ国の国防費はMENA 全体の7割に達する。MENA は一部の国の国防費が極めて多いことが特徴である。

第6位のアルジェリアは上位5カ国よりかなり低い94億ドルであり、第7位以下10位まではUAE(93億ドル)、オマーン(67億ドル)、エジプト(55億ドル)、クウェイト(46億ドル)の各国である。一方バハレーン(10億ドル)、レバノン、チュニジア(各12億ドル)は国防費が10億ドル強にとどまっております、サウジアラビアの40~50分の1、イスラエル、トルコのほぼ20分の1にすぎない。

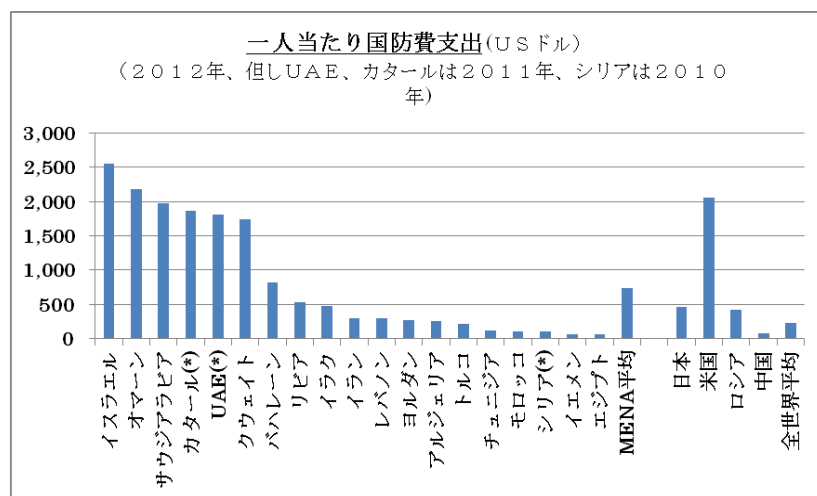
第6位のアルジェリアは上位5カ国よりかなり低い94億ドルであり、第7位以下10位まではUAE(93億ドル)、オマーン(67億ドル)、エジプト(55億ドル)、クウェイト(46億ドル)の各国である。一方バハレーン(10億ドル)、レバノン、チュニジア(各12億ドル)は国防費が10億ドル強にとどまっております、サウジアラビアの40~50分の1、イスラエル、トルコのほぼ20分の1にすぎない。

世界と比較した場合、MENA の国防費は全世界の国防費1兆5,828億ドルの11%を占めている。日本(594億ドル)及びロシア(599億ドル)はMENAトップのサウジアラビアをやや上回っており、中国(1,024億ドル)はサウジアラビアの2倍である。米国(6,457億ドル)は世界全体の4割を占める軍事大国であり、サウジアラビア、ロシア、日本の10倍以上、中国の6倍を超えている。

2. 国民一人当たりの国防費: イスラエルの一人当たり国防費は日本の5倍

2012年の国民一人当たり国防費で見ると、トップはイスラエルの2,551ドルであり、2位はオマーンの2,178ドルである。両国の一人当たり国防費は米国の2,057ドルを上回っている。イスラエル、オマーンに続く3位から7位はサウジアラビア(1,979ドル)、カタール(1,869ドル、但し2011年数値)、UAE(1,810ドル、但し2011年数値)、クウェイト(1,744ドル)であり、これら6カ国は

一人当たり国防費が1,000ドルを超えている。



これに次いで MENA で7番目に多いのはバハレーン(824ドル)であるが、6位のクウェイトの2分の1以下であり格差はかなり大きい。因みに MENA の平均一人当たり国防費は733ドルである。上位7か国のうちイスラエルを除く6か国は GCC 諸国である。GCC はイスラム教スンニ派の絶対君主制国家であり、ペルシャ

(アラビア)湾を挟んでシーア派のイスラム共和制国家イランと対峙しているため国防費に多額の予算を割り振っているのである。

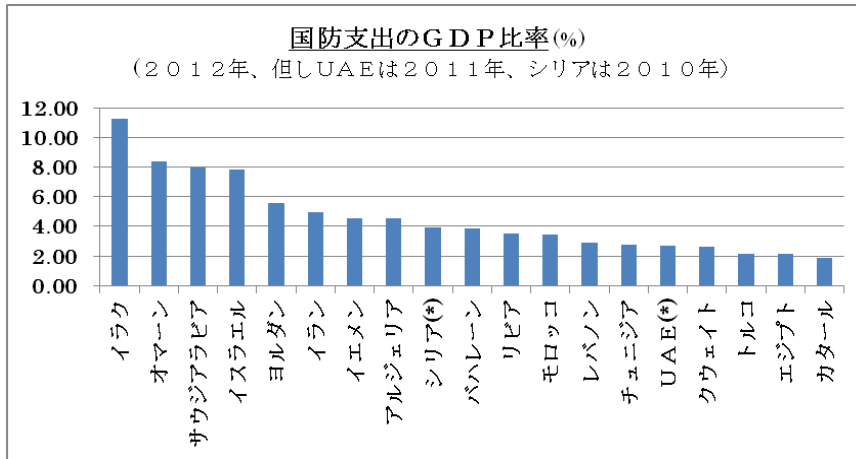
バハレーンは国防費総額が MENA19カ国の中で最も少ないにもかかわらず(前項参照)一人当たり国防費の順位が高い。同国はイスラム教少数派のスニ派王家が多数派のシーア派を支配する構図であり国内での騒乱が絶えない。同国は石油を殆ど産出しないため財政基盤は脆弱であるが、このような国内問題を抱えているため一人当たりの国防支出がMENA諸国の中で比較的高いのである。また非産油国のイスラエルの一人当たり国防費支出はオマーン、サウジアラビア、カタール、UAEなど GCC 産油国をしのいでおり国民の国防費負担が非常に大きいことがわかる。

8位以下はリビア(529ドル)、イラク(473ドル)、イラン(303ドル)と続いている。200ドル台にはレバノン、ヨルダン、アルジェリア及びトルコの4か国であり、これらの国々が全世界の平均(226ドル)に近い。一人当たり国防費がMENAで最も少ないのはエジプトの66ドルである。これはトップのイスラエルの40分の1であり、またサウジアラビアなど湾岸産油国の30分の1程度である。後に述べるように兵力の面ではエジプトはMENAのトップであり、極めて対照的である。

全世界平均の一人当たり国防費は226ドルであるが、イスラエルは世界平均の11倍、サウジアラビアなどのGCC産油国は9倍前後に達している。

3. 国防費の対 GDP 比率:世界平均を大幅に上回る MENA 諸国

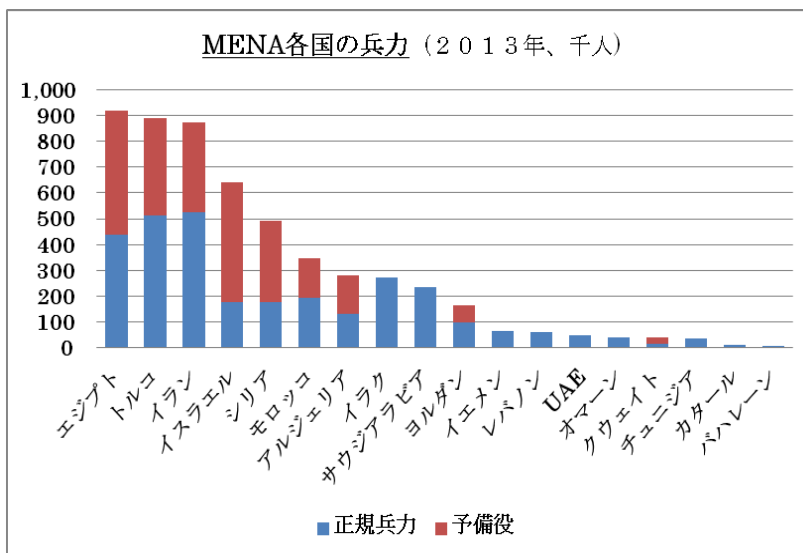
国防費を各国の GDP 比率で見ると、最も高いのはイラクの11.28%であり、MENA の中で唯一10%を超えている。次に高いのはオマーン8.42%、サウジアラビア7.99%、イスラエル7.85%、ヨルダン5.58%が5%を超えている。4%台にはイラン、イエメン、アルジェリアが並び、3%台はシリア、バハレーン、リビア及びモロッコの各国である。地域の軍事大国と言われるトルコ及びエジプトの GDP 比率はそれぞれ2.17%、2.16%である。



MENA の平均 GDP 比率は4.59%で全世界の平均2.23%を2倍以上上回っており、MENA 地域は経済力に不釣り合いな国防費を支出していると言えよう。米国、日本、中国及びロシアの対 GDP 国防費比率は米国4.12%、日本0.99%、中国1.2

4%、ロシア3.06%であり、米国の比率は MENA の平均値に近いが世界平均(2.23%)をかなり上回っている。ロシアも GDP 比率はかなり高いが、中国及び日本は世界平均を大きく下回っており、MENA で最も低いカタール(1.87%)よりもさらに低い。

4. 兵力の比較:エジプト、トルコ、イランが三大軍事大国、イスラエルは予備役を加えると No.4



MENA 諸国の中で兵員数(正規兵力)が最も多いのはイランの52万人であり、ついでトルコ(51万人)、エジプト(44万人)がいずれも50万人前後の兵力を抱えており、MENA の中では際立って多い。イラン、トルコ、エジプトの人口はほぼ同規模の7千万人前後であり、兵員数も拮抗している。

これら3カ国に続く第4位はイラク(27万人)、サウジアラビア(23万人)、モロッコ(20万人)、シリア(18万人)であり、イスラエルは17.7万人で MENA 第8位である。但しイラク、サウジアラビアを除く各国には多数の予備役があり、この数を加えるとエジプトが最も多い92万人に達し、トルコ及びイランそれぞれの総兵力はトルコ89万人、イラン87万人を数える。そしてイスラエルには正規兵力の3倍近い47万人の予備役があり、これを加えると同国の兵力は64万人となり、一挙に MENA 4位の規模に躍り上がる。

一方、サウジアラビア以外のGCC諸国はいずれも人口が少ないため兵力も極めて少なく、例えば UAE は5万人、オマーンも4万人に過ぎず、クウェイト、カタール、バハレーンに至ってはそれぞれ1.6万人、1.2万人、8千人にとどまっている。第1項及び第2項に述べた通り豊かな産油国は国防費総額或いは一人当たりの国防費では MENA のトップグループであり、これらの国々は兵力の少なさを軍備で補っていると言えよう。

因みに日本の自衛隊の兵力は25万人であり予備役を加えて30万人とされている。正規兵の兵力はサウジアラビアをわずかに上回る程度であり、イスラエルよりは多いが、予備役を加えた場合はアルジェリアと同程度で、イスラエルには及びもつかない。米国及び中国は正規兵がそれぞれ152万人、229万人で予備役を加えると米国233万人、中国280万人と圧倒的な兵力を誇っている。ロシアは正規兵こそ少な(85万人)が、予備役を加えると2,100万人に達しMENAトップのエジプトの20倍以上と言う巨大な兵力を有している。

5. 日本、米国、中国、ロシアとの比較 (末尾表 18-T01 参照)

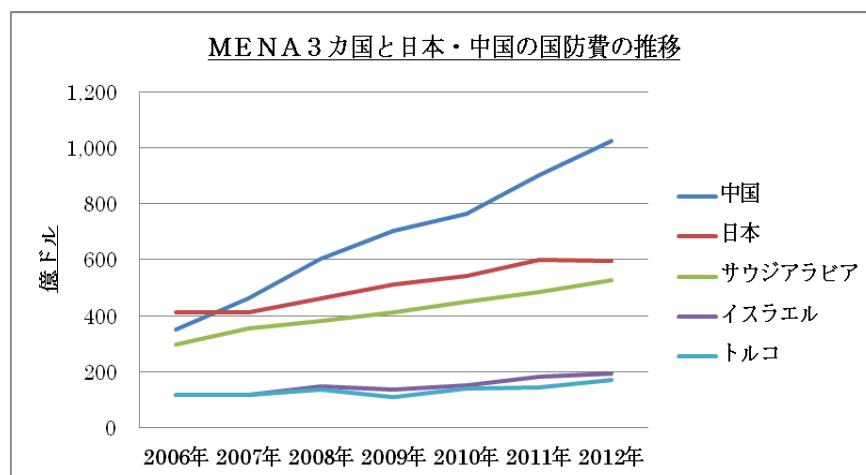
上記各項でも一部言及したが、MENA 各国と日本、米国、ロシア及び中国を比較する。

まず国防費総額で見ると米国は6,457億ドルで全世界の国防費(1.6兆ドル)の4割を占めており、MENA トップのサウジアラビア(525億ドル)の12倍、MENA 全体の合計国防費(1,820億ドル)の3.5倍と飛び抜けている。また中国の国防費は1千億ドルを超え(1,024億ドル)、日本及びロシアは共に600億ドル弱である。中国は MENA1位のサウジアラビアの2倍、日本とロシアは1.1倍である。

一人当たりの国防費では米国が2,057ドルであり、これは MENA ではイスラエルやオマーンより少ないが、サウジアラビア、UAE 等を上回っている。日本は一人当たり467ドルであり、これは MENA 諸国と比べた場合イラクとほぼ同じレベルであるが、イスラエルの5分の1、サウジアラビアの4分の1である。世界一の人口を擁する中国の国防費は一人当たりに換算するとわずか76ドルであり、MENA で最も低いエジプトをやや上回る程度にすぎない。

国防費の GDP 比率で見ると米国は4.12%でイラク(11.28%)の約3分の1、サウジアラビア或いはイスラエルの半分である。しかし全世界の平均(2.23%)よりは高い。ロシアの比率は3.06%であり世界平均をかなり上回っている。一方、日本及び中国は1%前後(中国1.24%、日本0.99%)であり、世界平均の2.23%に比べかなり低い。また MENA19カ国中ではトルコ、エジプトが2%台であることと比較しても日本と中国の国防費の GDP 比率は世界的に見て低いことがわかる。

6. 国防費の推移: 増加し続けるサウジアラビア、イスラエル。中国はついに1千億ドル突破



サウジアラビア、イスラエル、トルコの MENA3カ国に日本、中国を加えた5か国の2006年から2012年まで7年間の国防費の推移を見ると、2006年は日本が最も多く(411億ドル)、これに中国(352億ドル)、サウジアラビア(295億ドル)が続きイ

スラエル及びトルコは100億ドル強にとどまっていた。

その後を見ると中国の伸びが著しく、2007年には日本を追い抜きその後も毎年大幅に増加、2012年には1千億ドルを突破し2006年の3倍弱に達している。日本も漸増傾向をたどり2012年には594億ドルに達しているがこの間の増加率は1.4倍にとどまり中国との格差は年々拡大している。サウジアラビアは日本とほぼ同じように増加しており2012年には525億ドルとなっている。

イスラエルの国防費は116億ドル(06年)→116億ドル(07年)→148億ドル(08年)→135億ドル(09年)→152億ドル(10年)→181億ドル(11年)→194億ドル(12年)と推移しており、またトルコの国防費は116億ドル(06年)→118億ドル(07年)→135億ドル(08年)→109億ドル(09年)→141億ドル(10年)→145億ドル(11年)→170億ドル(12年)であった。両国の国防費はほぼ同じペースで増加している。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail;

MENA 各国の国防費及び兵力

国名	国防費(2012年)			兵力(2013年)		
	総額	一人当たり	GDP 比率	正規兵力	予備役	合計
	百万 US\$	US\$	% of GDP	千人	千人	千人
アルジェリア	9,367	251	4.54	130	150	280
バハレーン	1,028	824	3.88	8	0	8
エジプト	5,510	66	2.16	439	479	918
イラン	23,932	303	4.95	523	350	873
イラク	14,727	473	11.28	271	0	271
イスラエル	19,366	2,551	7.85	177	465	642
ヨルダン	1,750	269	5.58	101	65	166
クウェイト	4,616	1,744	2.64	16	24	40
レバノン	1,223	296	2.93	60	0	60
リビア	2,971	529	3.49	n.k.	n.k.	n.k.
モロッコ	3,374	104	3.47	196	150	346
オマーン	6,731	2,178	8.42	43	0	43
パレスチナ自治政府	n.k.	n.k.	n.k.	n.k.	n.k.	n.k.
カタール(*)	3,457	1,869	1.87	12	0	12
サウジアラビア	52,510	1,979	7.99	234	0	234
シリア(*)	2,296	103	3.94	178	314	492
チュニジア	1,224	114	2.74	36	0	36
トルコ	16,954	213	2.17	511	379	890
UAE(*)	9,320	1,810	2.73	51	0	51
イエメン	1,654	67	4.55	67	0	67
MENA 合計	<u>182,010</u>	<u>829</u>	<u>4.59</u>	<u>3,053</u>	<u>2,376</u>	<u>5,429</u>
日本	59,443	467	0.99	247	56	303
米国	645,700	2,057	4.12	1,520	810	2,330
ロシア	59,851	420	3.06	845	20,000	20,845
中国	102,436	76	1.24	2,285	510	2,795
全世界	<u>1,582,794</u>	<u>226</u>	<u>2.23</u>	<u>21,767</u>	<u>42,542</u>	<u>64,309</u>

国防費:カタール、UAE は2011年、シリアは2010年。

(Source:The Military Balance 2013 by IIST (International Institute for Strategic Studies))